

平成30年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～				
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー				
重点プロジェクト						
主管課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者			山中 昇	
		評価日			令和元年5月24日	
関連課	協働推進課、文化・スポーツ振興課、環境課、社会教育課					
目標	高齢者が知識や経験を活かしながら、地域社会の中で趣味の活動やボランティア活動、就労などを通じて積極的な役割を果たし、生きがいを持っていきいきと健やかに暮らせる環境づくりを進めます。					
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 趣味やボランティア、交流活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が地域で生きがいを持って暮らせるよう、スポーツ・レクリエーション・社会参加・世代間交流などを推進します。 ○高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を様々な分野で活かし、ボランティア活動や地域づくりなどを通じて積極的に活動できる環境を整備します。 ○高齢者が安全に安心して活動できる拠点の確保を図ります。 ○高齢者の閉じこもりを防ぎ、積極的に地域で活動できるよう、移動手手段の確保を図ります。 <p>(2) 就労機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の就労について中心的役割を果たすシルバー人材センターと連携し、就労相談や就労機会の拡充に努めます。 					

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	シルバー人材センター会員数					
		説明	高齢者が知識や経験を活かしながら地域社会の中で生きがいを持って暮らせるよう、シルバー人材センターと連携し、センターの周知を図ったが、平成29年度とほぼ横ばいで目標値に届かなかった。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	2,200	2,260	2,320	2,380	2,440	2,500
		実績値	2,170					
	指標2	指標名	高齢者の施設利用者数（おおい老人福祉センター）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者相互の交流を図るため、大井総合福祉センター内のおおい老人福祉センター利用者数の確保に努めたが、平成29年度66,291人より微減となり、目標値に届かなかった。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績値	66,027					
	指標3	指標名	高齢者の施設利用者数（エコパ）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者相互の交流を図るため、エコパ利用者数の確保に努め、平成29年度164,349人より利用者が順調に増加し、目標値を上回った。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
		実績値	168,000					
	指標4	指標名						
		説明						
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	404,226	176,089				
	人件費	31,662	31,906				
収入	特定財源	274,344	47,166				
	一般財源	161,544	160,829				

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理	介護保険法に基づき3年を1期とする介護保険事業計画を高齢者保健福祉計画と一体のものとして平成29年度に策定し、平成30年度は諮問機関である介護保険等運営審議会で計画の進捗管理を行った。 (第7期計画：平成30年度～令和2年度)	計画の進捗管理を介護保険等運営審議会（年間4回）で行い、計画値と実績値について評価・点検を行った結果、平成30年度においては計画値と大きな乖離はなく計画に沿って事業が行われた。	高齢者保健福祉計画推進事業
取組②	高齢者の就労機会の拡充	シルバー人材センターの運営は2市1町共同による補助金交付により、シルバー人材センターの健全運営を支援した。会員の確保のための啓発事業として、コンサートや講演会が実施された。	シルバー人材センター補助金として、ふじみ野市分10,103,980円を交付した。平成30年度の会員の得た収入は、9億9千万円で、平成29年度の9億6千8百万円に比べ2.3%増加した。	シルバー人材センター支援事業
取組③	お出かけサポートタクシーのアンケート調査の実施	高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会の提供を行うために実施している、お出かけサポートタクシーのサービス向上に向けたアンケート調査を実施した。	サービス向上に向けたアンケート調査（1,000人を抽出）回収率52.5%。アンケート結果を集約し、令和元年度以降の検討課題として、サービス向上に努める。	長寿推進事業（一部）
取組④	地域密着型施設の整備	国・県から交付される補助金を活用して、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費の一部を助成する補助金を交付した。	高齢者福祉施設整備補助金（繰越分）を1施設に123,830,000円交付した。地域密着型特別養護老人ホーム（29床）が平成30年7月に開設した。	高齢者福祉施設整備等支援事業
取組⑤	大井見総合福祉センターの適正な運営	運営に関しては、指定管理制度によるもので、基本協定、年度協定に基づき、効果的・効率的な運営に努めるよう支援を行った。	現在、指定管理期間2期目。おい老人福祉センターにおいては、来館者100万人に達し、記念品と認定書の授与を行なった。また、経年劣化による修繕として、室外機（2機）、配管の水漏れ等の修繕を行った。	大井見総合福祉センター管理運営事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	いきいきクラブの会員数が平成29年度1,932人から平成30年度に1,826人へと減少しているなどの課題があるが、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく事業が概ね順調に進められている。引き続き、ライフスタイルの多様化などに対応した高齢者の生きがいに満ちた生活・地域づくりに向け、時代のニーズを把握し、工夫しながら事業展開を行う必要がある。誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることのできる地域社会の構築のため、既存のサービスの検証を進めながら支援体制の充実を図る。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の成果	
効果が得られている	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	高齢者保健福祉計画推進事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目	一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子	
事務事業期間	平成12年度～	評価日	平成31年4月4日	
個別計画 根拠法令・条例等	介護保険法			
事務事業の内容	事務事業の目的	老人福祉法及び介護保険法に定められた高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定を行う。また、計画は3年ごとに見直しを行うこととされていることから、進捗管理を併せて実施する。		
	事務事業の経緯	介護保険法により、市町村は3年を1期とする介護保険事業計画を高齢者保健福祉計画と一体のものとして作成することとされている。本市では、作成年度に庁内検討委員会を設置し、諮問機関である介護保険等運営審議会へ諮問し計画策定を行っている。		
	事務事業の概要	3年ごとに高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する。計画は介護保険等運営審議会を開催し、原案を策定している。策定した計画は、審議会により進捗管理を実施している。		
	平成30年度の主な取組	第7期計画に示された各種事業計画について、審議会により進捗管理を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.56	1.06	1.06
		人件費	12,700	8,582	8,582
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.50	0.65
		人件費	0	1,841	2,393
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		12,700	10,423	10,975	
事業費	報酬	699	399	456	
	賃金	0	0	0	
	需用費	19	19	29	
	委託料	3,391	0	4,092	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	42	31	37	
支出合計		16,851	10,872	15,588	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		16,851	10,872	15,588	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		148	95	136	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	介護保険等運営審議会開催回数		
	説明	計画策定及び進捗管理を行う介護保険運営審議会等の開催回数を活動指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	10	4	4
	実績値	7	4	
指標 2	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標 3	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～平成32年度）の概要】
	〔計画の目的・特徴〕 ふじみ野市における高齢者保健福祉計画に関する総合的計画と介護保険事業に関する事業計画を合わせたものであり、市の高齢者保健福祉施策の総合的指針となるものである。 第7期計画は、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年までの中長期的な視点から策定した。
	〔策定体制等〕 庁内検討委員会及び介護保険等運営審議会で審議・検討するとともに、ニーズと実態把握のためのアンケート調査、計画案に対するパブリックコメントを実施した。
	〔基本理念と基本目標〕 高齢者が住みなれた地域で、いつまでも、自分らしく、安心して、豊かな生活を送れるまちを、全ての世代の市民とともに支え合いながらつくりあげていくことを目指し、基本理念を「みんなで支え合いつまでも健やかに暮らせるまち」と決定した。また、以下の4つを基本目標とした。 1. 健康で自立した生活を継続できるまち 2. 住みなれた地域で支え合いながら暮らせるまち 3. 安心して介護が受けられるまち 4. 快適にいきいきと暮らせるまち
	〔計画の進行管理〕 計画の進行管理については、「ふじみ野市介護保険等運営審議会」において、計画の進捗状況の評価・点検を実施する。また、3年後の計画見直しにおいては、アンケート調査の実施や市民・高齢者団体等の関係分野から意見を聴取し、幅広い視点からの評価を行う。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	〔次年度以降の取組み〕 審議会を中心に、第7期各種サービスの利用状況、介護保険認定者の状況、施設整備状況などについての検証を行い、次年度以降計画に反映させる。
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	シルバー人材センター支援事業		前年度の方向性
			継続
重点プロジェクト			
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～	
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー	
予算費目	一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費		
所管部課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子
事務事業期間	昭和62年度～	評価日	平成31年4月4日
個別計画 根拠法令・条例等	高齢者等の雇用の安定等に関する法律 ふじみ野市シルバー人材センター補助金交付要綱		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者の就労機会の拡大、健康で生きがいのある生活の実現などを旨とする趣旨のもと設置されたシルバー人材センターに対し、補助金を支出しその活動を支援する。	
	事務事業の経緯	平成28年4月にふじみ野市・富士見市・三芳町のシルバー人材センターが合併し、(社)入間東部シルバー人材センターが発足した。補助金については、協定により基本割額（国基準）と人口割額の合算額を市町それぞれの補助額とした。	
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容の審査及び補助金の支出 ・ 法人の事業運営の確認 ・ 法人の運営等に関する連絡調整等及び活動の支援 	
	平成30年度の主な取組	(社)入間東部シルバー人材センターに対し、市・町の協定により定められた補助金を交付するとともに、センターの健全運営への支援を行った。	

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.18	0.11	0.06
		人件費	1,465	891	486
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.07	0.07
		人件費	0	258	258
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		1,465	1,149	744	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	10,102	10,104	10,177	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	4	4	4	
支出合計		11,571	11,256	10,924	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,571	11,256	10,924	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		102	99	95	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	補助金支出額		
	説明	事業の目的達成のための財政的援助(補助金支出額)を活動指標とする。		
活動	単位	千円		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	10,103	10,104	10,192
	実績値	10,103	10,104	
指標 2	指標名	契約金額		
	説明	シルバー人材センターの受注実績である契約金額を成果指標とする。		
成果	単位	千円		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	1,085,492	1,072,368	1,059,245
	実績値	985,000	937,700	
指標 3	指標名	シルバー人材センター会員数		
	説明	会員数を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	2,150	2,200	2,287
	実績値	2,180	2,170	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>ふじみ野市・富士見市・三芳町共同による補助金交付及び事業支援の実施により、シルバー人材センターの健全運営とともに、シルバー世代への就労支援を図ることができた。</p> <p>会員数・契約数を増やすための啓発事業として、シルバー人材センター主催のコンサート及び富士見市・三芳町との共催による講演会を実施した。</p> <p>また、シルバー人材センターでチラシ作成し、公共施設での配布を行っている。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	高齢者の生きがい対策や就労機会の提供の観点から、引き続きシルバー人材センターへの支援を行う。
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	長寿推進事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目	一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費			
所管部課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子	
事務事業期間	昭和33年度～	評価日	平成31年4月4日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市立ふれあいプラザ条例・同施行規則 ふじみ野市敬老祝金支給条例 外			
事務事業の内容	事務事業の目的	・高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、施設の提供・団体の支援等を行う。また、敬老の意を表し、祝金の支給をもって長寿を祝福する。		
	事務事業の経緯	本事業に位置づけている高齢者の生きがい対策は、主として老人クラブ育成、敬老祝金の支給、高齢者施設管理運営(指定管理者施設除く)である。本市(合併前)では昭和40年度より補助金支出による財政支援等を実施。敬老祝金は、旧上福岡市は昭和33年、旧大井町は昭和39年に事業開始となっている。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいプラザかみふくおかの管理運営の実施。 ・ゲートボール場の管理運営及び利用者団体の育成。 ・老人クラブの育成、活動支援のため、補助金を交付し財政的援助を行うとともに、必要に応じ助言など支援を実施。 ・敬老祝金の支給。 		
	平成30年度の主な取組	<p>【ふれあいプラザかみふくおか】在宅高齢者の交流・社会参加・地域福祉活動の場として設置。 【ゲートボール場】スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援。 【老人クラブ】老後の生活を豊かなものにしていくため、おおむね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味、教養、娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。 【敬老祝金】市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。 【お出かけサポートタクシー】タクシーの利用料金の一部を助成し、交通手段の確保及び福祉の増進に努めた。</p>		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.99	1.05	0.98
		人件費	8,060	8,501	7,934
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.15	0.00
		人件費	0	552	0
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	1.25	0.63	0.64
	人件費	0	1,110	1,118	
	人件費計	8,060	10,163	9,052	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	1,812	1,829	1,912	
	需用費	1,992	4,617	1,287	
	委託料	3,308	20,681	3,679	
	使用料及び賃借料	674	686	645	
	工事請負費	0	135,886	0	
	負担金、補助及び交付金	19,956	20,217	24,183	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	16,808	27,675	21,080	
	支出合計	52,609	220,645	60,720	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	616	0	600
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	143,300	0
		基金	498	7,185	0
		その他	169	0	166
	一般財源	51,326	70,160	59,954	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	450	614	522	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ふれあいプラザかみふくおか開館日数		
	説明	高齢者が集える場の提供として、ふれあいプラザかみふくおかの開館日数を活動指標とする。		
活動	単位	日		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	244	244	244
	実績値	240	242	
指標 2	指標名	老人クラブ会員数		
	説明	高齢者施設等を拠点として活動する老人クラブ会員数を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	2,451	1,980	1,992
	実績値	1,932	1,826	
指標 3	指標名	敬老祝金支給者数		
	説明	敬老祝金を支給した長寿の方の人数を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	1,620	1,680	2,060
	実績値	1,588	1,812	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【ふれあいプラザかみふくおか】 在宅の高齢者の交流の場、様々な地域社会参加活動を推進する場として設置。事業開始：平成12年4月、利用対象者：市内在住の高齢者の方、利用料：無料、利用者数：交流スペースの個人利用 30人程度/日 その他、高齢者や地域福祉団体の活動拠点(事務室等)として利用されている。</p> <p>【ゲートボール場】 スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援している。市営ゲートボール場の他に、地域で利用しているゲートボール場が3か所ある。</p> <p>【老人クラブ】 老後の生活を豊かなものにしていくため、概ね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味、教養、娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。また、地域ごとに市と共催で講演会等を開催するなどし、地域での交流を深めている(35団体 1,826人が加入)。</p> <p>【敬老祝金】 市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。支給対象者は、喜寿、米寿、白寿</p> <p>【お出かけサポートタクシー】 タクシーの利用料金の一部を助成し、高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会を提供している。 対象者は、市内に住所を有し65歳以上で申請により登録証の交付を受けた方。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	今後の高齢社会の進行を踏まえ、本事業で実施されている対象事業は必要なものと考えている。一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加傾向となる中、生きがいを持って生活し地域において活動していくことは今後ますます重要なものとなることから、各種事業の継続が求められる。
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	高齢者福祉施設整備等支援事業		前年度の方向性
			継続
重点プロジェクト			
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～	
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー	
予算費目	一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費		
所管部課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子
事務事業期間	平成28年度～	評価日	平成31年4月4日
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市高齢者福祉施設整備補助金交付要綱、ふじみ野市施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金交付要綱、第6期ふじみ野市介護保険事業計画、第7期ふじみ野市介護保険事業計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者福祉施設を日常生活圏ごとに計画的に整備し、地域の高齢者及びその家族に良質で安定した介護サービスを提供するとともに、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等に係る負担の軽減を図る。	
	事務事業の経緯	国の三位一体改革に伴う補助金制度の見直しにより従来の国・県による補助制度が廃止され、平成17年度より「地域介護・福祉空間整備等交付金」が創設された。また、平成28年度に同交付金のメニューが見直され、新たに「埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金交付要綱」が創設された。	
	事務事業の概要	国・県から交付される補助金を活用して、市内に地域密着型の高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等の一部を助成する補助金を交付する。	
	平成30年度の主な取組	◎高齢者福祉施設整備補助金（繰越） 1施設数 1施設 2補助金額 123,830,000円 3補助対象経費 地域密着型特別養護老人ホーム整備に要する経費	

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.00	1.00
		人件費	8,141	8,096	8,096
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	8,141	8,096	8,096	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	18,441	123,830	46,400	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	28	0	
	支出合計	26,582	131,954	54,496	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	18,009	123,830	46,400
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	29	0
	一般財源	8,573	8,095	8,096	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		75	71	70	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	補助制度活用事業者数		
	説明	補助金を活用して施設整備等を実施した事業者数		
成果	単位	事業者数		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	1	0	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【高齢者福祉施設整備補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 高齢者福祉施設の整備費等の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。 ・対象事業所種別 地域密着型特別養護老人ホーム等 ・補助額 4,270千円×整備床数を上限として補助を行う。 (特別養護老人ホームの場合) <p>【施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 高齢者福祉施設の開設に係る準備経費の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。 ・対象事業所種別 地域密着型特別養護老人ホーム等 ・補助額 621千円×定員数を上限として補助を行う。 <p>～平成30年度実績～</p> <p>【高齢者福祉施設整備補助金（繰越）】</p> <p>1対象法人 社会福祉法人 樹会 2施設数 1施設 3補助金額 4,270,000円×29床=123,830,000円 4事業所種別 地域密着型特別養護老人ホーム 5補助対象経費 整備に要する経費</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	第7期介護保険事業計画（平成30年度～平成32年度）に基づき、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して、国及び県の補助金を活用し補助を実施する。
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		大井総合福祉センター管理運営事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～			
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 04総合福祉センター費			
所管部課		福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子	
事務事業期間		平成14年度～	評価日	平成31年4月5日	
個別計画 根拠法令・条例等		老人福祉法 ふじみ野市立大井総合福祉センター条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者及び障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資することを目的とする。			
	事務事業の経緯	大井総合福祉センターは平成14年度に開設、以来、高齢者及び障がい者の方に対して、地域福祉の拠点的作用を持つ施設として、常に良好な施設として維持管理及び運営を行っている。平成24年4月からは事業を効果的かつ効率的に行うためとして指定管理者制度を導入している。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・協定の作成及び指定管理者選定事務（4年ごと） ・協定書に基づき指定管理者が実施する施設管理・健康相談・自主事業などの進歩管理 ・危機管理体制の整備及び対処 			
	平成30年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の指定管理者は2期目であり、指定期間は平成28年度から平成31年度までとなっている。 ・本年度は経年劣化による室外機の故障や配管の漏水が発生し修繕を行った。 ・おおい老人福祉センターは来館者が100万人に達したことから、当施設のPRを兼ねて指定管理者と共催でイベントを開催し、記念品と認定証の授与を行った。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.27	0.19	0.33
		人件費	2,198	1,538	2,672
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.08	0.10
		人件費	0	294	368
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		2,198	1,832	3,040	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	1,510	2,333	3,268	
	委託料	56,800	56,956	59,918	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	39	39	40	
支出合計		60,547	61,160	66,266	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		60,547	61,160	66,266	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		531	535	577	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	開館日数		
	説明	サービス提供量の開館日数を活動指標とする。		
活動	単位	日		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	294	293	288
	実績値	294	293	
指標 2	指標名	おおい老人福祉センター利用者数(延べ)		
	説明	中間指標の利用者数(延べ)を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	70,000	70,000	70,000
	実績値	65,343	66,027	
指標 3	指標名	多目的ホール及び会議室利用者数(延べ)		
	説明	中間指標の利用者数(延べ)を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	20,780	20,780	20,780
	実績値	19,266	16,056	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【大井総合福祉センターの概要】</p> <p>大井総合福祉センターは、高齢者の方や障がい者の方などの複合施設として平成14年度に開館した。高齢者施設としては、入浴施設や運動・交流等が行える「おおい老人福祉センター」を2階部分に設置している(高齢福祉課所管)。</p> <p>障がい者施設として、1階部分に「大井デイケアセンター」を設置し、入間東部福祉会が運営を実施(障がい福祉課所管)。また、3階部分には、「障がい者相談支援センター」「障がい者就労支援センター」を一部委託で設置している(障がい福祉課所管)。</p> <p>4階部分には、社会福祉協議会大井支所が入居し、平成28年度からはNPO法人により、「市民大学」を開校し高齢者を含む多くの市民のまちづくりを考える場として活用している(協働推進課所管)。</p> <p>その他として、多目的ホールや会議室(3室)を有し、高齢者・障がい者団体等に貸出し、活動の場として支援を行っている。大井総合福祉センター管理事業の位置づけとして、館全体の管理業務(部屋の貸出しを含む)及び老人福祉センターの運営や、カラオケ教室等の自主事業を行うこととしている。</p> <p>【おおい老人福祉センターについて】</p> <p>利用対象者：60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方 利用料：市内在住の60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方は無料 市内在住の60歳未満の方は300円、市外の方は500円</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">利用者数</td> <td style="text-align: center;">平成28年度</td> <td style="text-align: center;">平成29年度</td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(男性)36,757人</td> <td style="text-align: center;">(男性)33,966人</td> <td style="text-align: center;">(男性)35,009人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(女性)27,812人</td> <td style="text-align: center;">(女性)26,381人</td> <td style="text-align: center;">(女性)31,018人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(合計)64,569人</td> <td style="text-align: center;">(合計)60,347人</td> <td style="text-align: center;">(合計)66,027人</td> </tr> </table> <p>※平成14年度から、受付・管理業務をシルバー人材センターに委託 ※平成31年3月5日、延べ来館者数が100万人を突破した。</p>	利用者数	平成28年度	平成29年度	平成30年度		(男性)36,757人	(男性)33,966人	(男性)35,009人		(女性)27,812人	(女性)26,381人	(女性)31,018人		(合計)64,569人	(合計)60,347人	(合計)66,027人
利用者数	平成28年度	平成29年度	平成30年度														
	(男性)36,757人	(男性)33,966人	(男性)35,009人														
	(女性)27,812人	(女性)26,381人	(女性)31,018人														
	(合計)64,569人	(合計)60,347人	(合計)66,027人														

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業やイベントの継続を図り、新規利用者の獲得につなげていく。 ・平成31年4月に開所した介護予防センターのサテライト拠点として、介護予防や栄養改善に関する事業を開催していく。 ・利用者が安心かつ安全に過ごせるよう、老朽化が進んでいる箇所については、優先順位を定め計画的に施設管理(保守点、清掃、修繕)を行っていく。
中長期的方向性	
継続	